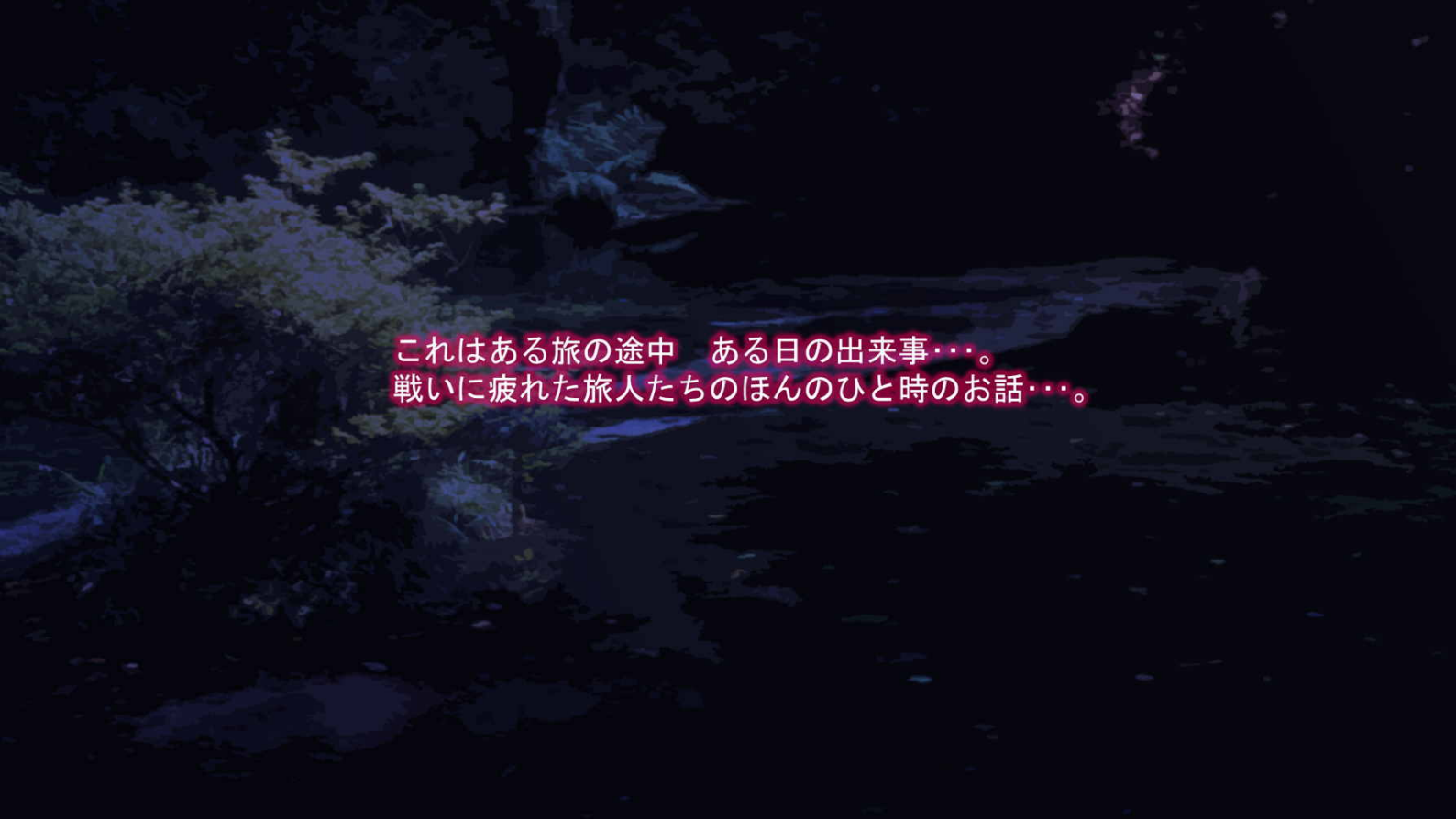


淫乱ゼ○カの爆乳





これはある旅の途中 ある日の出来事・・・。  
戦いに疲れた旅人たちのほんのひと時のお話・・・。

ゼシカ 「ちょっとあんた!! 戦闘中にチラチラ私のおっぱい見てるのバレバレなんだからね!!」

…みてないよ! 見てない! たまに先っぽがチラッと見えっ…あっ!

ゼシカ 「ほーらみなさい! やっぱり見てるんじゃない! だから、負けちゃうのよ! もう!!」

…だって…、ゼシカのおっぱい大きいし、ぱふぱふって… 見ちゃうに決まってるじゃないか!

ゼシカ「!? ちょっと! 何で今、…っ、硬くしてるのよ!」

…だ、だってゼシカっ、乳首がその…っ 見えてるし…

ゼシカ「!! あああもう! し、仕方ないわね!  
それじゃあ次の戦闘も負けちゃうしっ!  
み、…見せてあげるから自分でシちゃいなさいよ!」

…ええ? 何を?

ゼシカ「…わかるでしょ!」

…わからないよう。どうすればいいんだよう。

ゼシカ「本音が出たわね…！ だからイヤなのよ！ 男の子ってのはもう！」

…い、今だって…！ そんな、エッチな服着ちゃってさ！！ ボクを誘惑してるんじゃないのっ…！

ゼシカ「あんた、童貞なの？ ちょっと…本当に？」

…そ、そんなの知らないよボク！

ゼシカ「もう…仕方ないわね… そんな起ったままじゃ、困っちゃうじゃない…  
わ、私だって、しょ、処女なんだから、ほにゃほにゃ…っはっ、ダメだけど！」

…ほにゃほにゃって…？

ゼシカ「あーっ！ わかってるくせに言わせないでよ！」

…えっ…本当にわからないんだけど…

ゼシカ「あ～～もお！！これだから童貞は！！ マンコよ、マ・ン・コ！！」

…っまんこ？

ゼシカ「あ、あんた、・・・マンコも知らないの…？ 本当に童貞なんだ…。 ふう～ん」

・・・なんだよ！

ゼシカ「と、兎に角、マンコはダメだから、こっこの…っほにゃほにゃで我慢しなさいよ！」

・・・えっ、まんこじゃないほにゃほにゃって…？

ゼシカ「だっ！！ もお！！」



な、治してあげるって  
言ってるの！

「アッー」

だからあっ！

うわっぜ、ゼシカツ  
何やってるんだよあつ

おっ！おっ！

ほわっ。

ソレをつ！

ビビーン♡

ビビーン♡

ビビーン♡





ゼシカはゆうしきのうえにのった！









「お、おっぱい気持ちいいでしょ？

ほら、ほら？どう？

おっぱいで顔をぱふぱふしてるのよ、気持ちいいでしょ？」

——つつんううふうつ！！

「す、好きにしているのよ？

おっぱい好きにしているよ……？」





「ちょ…っ、 あっ、ダ、ダメ…っ ち、乳首は弱いっ、んっ…っ！」

「ひっ、ああんっ、 やっ、 やっ、 もお…っ、 気持ちいい…っ！」



「はっ、はあ・・・はあ・・・っ 気持ちいい・・・、乳首気持ちいいよ・・・でも・・・」

「ま、・・・ん・・・っ、ま、まって・・・。 私もぺろぺろ、シテあげる・・・」



ゼシカはバイズリフェラチオをした！



「…次は私が気持ちよくしてあげる。」

…ちよつ、ちよつとゼシカ…っ、ボク何され…あぁっ  
お、おっばいが…ボクの…ちんちんっが…っ!!









…あああ…ぜ、ゼシカ…口…っ、口気持ちいい

(じゅぽっ、じゅぶっ、じゅっ、じゅるっ…っ)

「(仮性包茎チンポ…熱うい…っ) ん、んふっ…っ」





「あ…ああつ、あああつ、ゼシカッ、なんかボクッ、ボク…っ  
変なカンジ…っ、なんかっ、なんか出ちゃうっ!! 出ちゃうよっ!!!!」

(射精ね、射精したいのね。ちょっと早いけど…)

「んっ、いひお…っ、らしちゃって… (良いよ出しちゃって)」











「・・・は、はぁ・・・。 いっぱい、出たわね。

・・・チンポも剥けチンポになったわよ。 うふ♪ はぁ・・・あ・・・

それにしても・・・濃い精液・・・。 飲み込めるかしら・・・」





「…ん… (喉に引っかかって飲み込めない…  
すっごく濃い…。 こんな精液初めて…。 んん…  
(ごくり…)」



「はあ……。ぜんぶ飲んじゃた。  
あんたの精液、すっごく濃くて青臭い。  
本当に童貞なのね♪ うふふ♪」



ヤンガスがオナニーをしながらあらわれた！

ヤングス「み～た～で～や～ん～すよお～～～っ」

ゼシカ「ヤ！ヤングス！！ あんた！ ちょっと、何して!!」

ヤングス『兄貴い、自分だけずるいっすよお…  
ふたりのあんなどこ見てたら、アッシのここもこんなんなっちゃってんてさあ』

ゼシカ「（ちょ…ヤングスの…で…、でかい…）」



…ゼシカ…ヤングスにもシテあげてよ…。

ゼシカ「は！？ い、いやあよ！ だって見てよ！  
あんたの汁でこんんなっちゃってるのに！」

ヤングス『大丈夫っす！』

…ヤングスもそういってるし… してあげないと、…次の戦闘負けちゃうよ…？

ゼシカ「も、もう、し、仕方ないわね！  
いい！？ まんこはダメだからね！  
ここと口だけだから！ わかった！？」

ゼシカ「……（んもう……っ、こんな、でっかいチンポ……っ！  
啜るだけでも大変だって……っのっんっ！！！！）」

ん————ツ！！

「んっ！ はんはんんんっ！！」

『ああ〜っ、ゼシカの口中気持ちいいでやんすう〜』

『ねっちよりドロドロでやんすう〜っ はあはあ〜』

「く、苦しっ、んもお！ チンポでかすぎんのだよ！！ はんんっ！！」



「(し、しかも・・・、く、臭いっ!!  
何なのよ! この臭いは!!)」

『あ～あ～～あ～～ ふうふう・・・。 あ、もしかして臭いでやんすか?  
最近洗ってないでやんすからなあ～。 ふうふう、おうふ。 気持ちいいでやんすう』

「んぐううっ!! (洗ってないって何よ!! 臭いっくるひい!!)」

「んっ！ はんはんんんっ！！」

『あ、出そうでやんす!! お、おふう・・・っ!!』

『ロマンコに洗ってない臭チンポコつっこんで喉コキでいきそうでやんすう!!!』



キッパッパッ



「んんんんんんんっ!!! (すごい出てる!! 喉奥まで...熱い!  
熱い精液で喉レイプされちゃってる...っんんっ...っ)」

『はあ～はあ～ どっぷりまだまだ出てるでやんすう～～ はあはあ～ 気持ちいいー』

ゼシカ「…あんた…、チンポ位洗いなさいよ…はあはあ…」

ヤングス『ふう、沢山出たでやんすな～』

ゼシカ「…沢山でたでやんすじゃないわよ…。 全くもう…」

…。

ゼシカ「…どうしたの？」

…ボ、ボクも同じのやりたい！

ゼシカ「…えっ？ さっきシてあげたじゃない」

…ち、違う！ ヤングスみたいに上に乗って！ ゼシカの口に突っ込みたい!!





「ちよっ、ちよつと!! 無理やりはやめてっ!!」

・・・なんでさ! ゼシカ、ヤンガスに無理やりやられて  
気持ち良さそうだったじゃないか!! ボクもゼシカの口に突っ込んで、  
ゼシカを気持ちよくさせたいよ!!

『兄貴！ よく言ったでやんす！ 男は女を気持ち良くしてなんぼでやんす！』

『兄貴と一緒にオイラもゼシカを気持ち良くしてやるでやんすよ！』

…うん！



「ちょ、ちょっとちょっと！そこはだめだってば！！！」

「ま、マンコはダメ!! 絶対ダメ!!!!」





「や、やめて、お願い、マンコはやめっ！ あんっ!!!」

「やめてってば!! あんた！ 言うこと聞きなさいよ!!!」

「あっ！！ ああっあんっ、もおっほんとについっ やめてってば！」

「あ！ あんた!! もお！ 後で酷いわよ!!」

「や、やめてってばもお!!!!!!!!!!」

「! ?」



『全く、うるさいでやんすねえ…』

「ん-----っ!!! んっ!! んんっ!!!! (怒!!)」

…ヤンガス…やりすぎだよお。

『大丈夫、大丈夫でやんすよ、こんだけ濡れてるんでやんすから！  
本当は嬉しいんでやんすよ！』



…濡れる？ 濡れるって何が？

『マンコでやんすよ、女はちんぽをマンコに入れて欲しくなると、  
ここから愛液を分泌するでやんす』

…へえ！ ヤンガスは物知りだねえ！  
じゃあ、ゼシカはチンコをマンコに入れて欲しいって思ってるの？

『そうでやんす!!!』

…へ～え、じゃあ入れてあげようかな？

『それがいいでやんすよ!』

「!? (お、思って無いし! まだ処女なのよ!)」







『ほら！ 見て下さいよ、兄貴！ 愛液でドロドロになってるでやんすよ！』

セフッ♡

セフッ♡

…本当だ。なんか、ピクピクしてるね。

『そうでやんすよ。マンコにちんぽこが欲しいとヒクヒクしてるでやんす』



・・・そうなんだあ。ゼシカ入れて欲しいの？ ちんこ。

「……………」

『あれ？ 処女膜があるでやんすね？』

・・・ゼシカ、さっき処女だって言ってたよ！



『おお！ 処女でやんすか！？ それはそれは！！  
兄貴！ お先にどうぞ！ 初物はやっぱり兄貴が！』

…うーん、でもやっぱりゼシカに悪いよ… まんこはだめって言ってたし…

『いいから、いいから、パイズリフェラチオなんかより全然気持ちいいですから！！』

…えっ、本当に…？ そんなにいいの？ …じゃ、じゃあ…



「（口のコレ！ 取ってくれなきゃしゃべれないでしょーが！！！！）」

「ふがふがふんが——！！（挿入だけは絶対ダメええええ！！！！）」



せしかのしよじよのゆくえはooooo





「んー！！ はんはんはんはん！！ (やめて！ 痛っ!!)」

。。。っあぁあぁあぁ！ ゼシカのマンコ！ 気持ちイイよ！  
熱くて、ドロドロで。。。っ、！ キツイ!!  
愛液が絡み付いてくるよ。。。っ！ はぁっ、はぁっ!!

「はんはんんっ！ (お願いやめてっ!) んっんんっ!!」







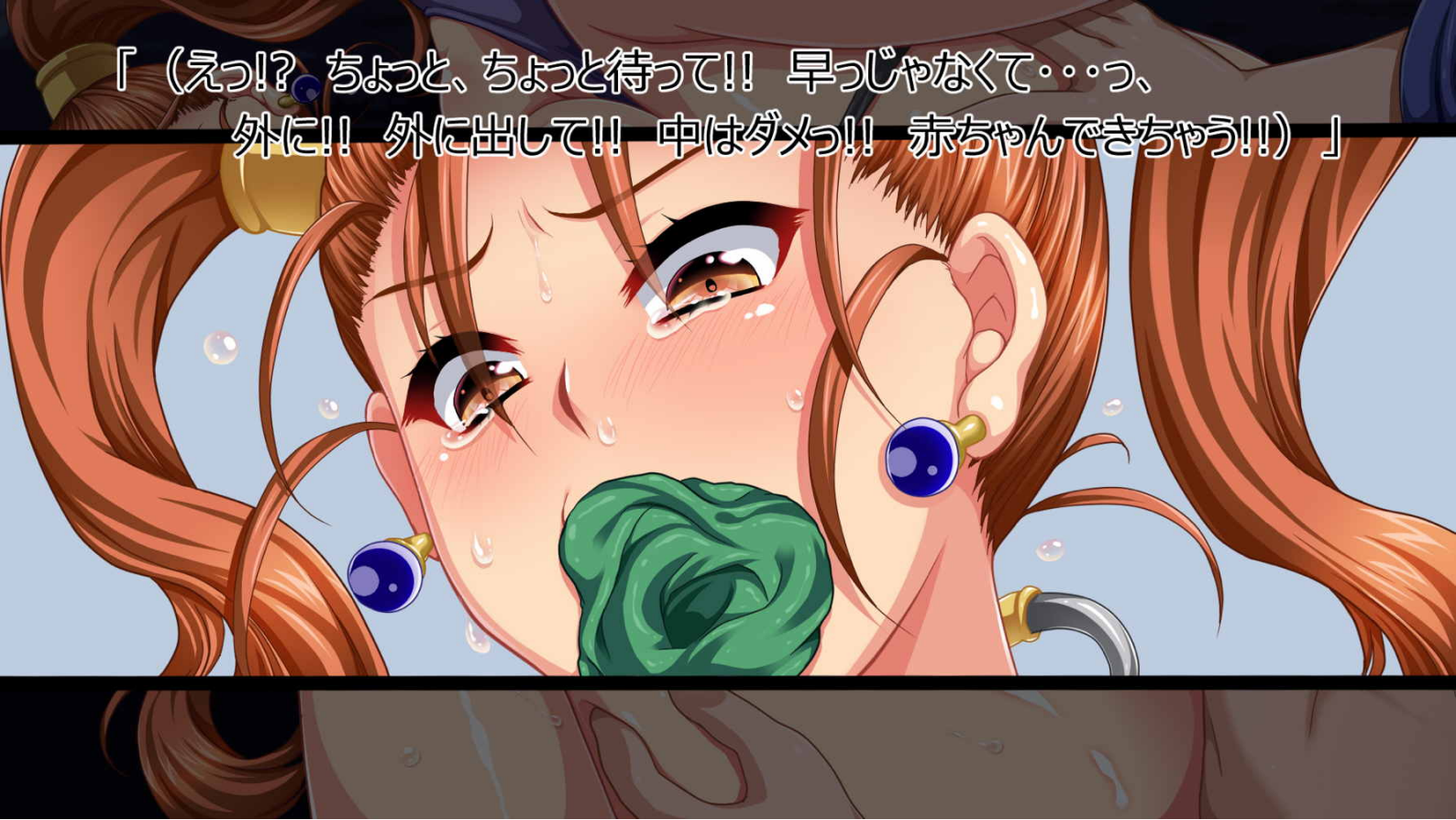
「んっ、んっんうっ……っ (痛いっ、痛いよお……っ) 」

……はあっ、はあっ、はあっ、 ボク……もう、出ちゃうかも……っ  
ゼシカのマンコきつすぎて……っ、ボクもうだめ……っ、ああああっ出ちゃうっ

出ちゃうよお……っ

あああああああああああっ!!!

「(えっ!? ちょっと、ちょっと待って!! 早っじゃなくて…っ、  
外に!! 外に出して!! 中はダメっ!! 赤ちゃんできちゃう!!)」





「!!!???'」

「(ちよっ！ いやっ、いやあっ!! 膣内に精液どぶどぶキてる!!)  
(赤ちゃんできちゃう!! いやああああああっ!!!)」



『あ、兄貴い。。。中出しはまずいでやんすよお。。。』

。。。ふう、え？ 何で??

『中出ししたら妊娠しちゃうでやんすし。。。』

。。。えええっ、そうなの？ あああ。。。でもすっごく気持ちいいよ。。。  
まだ沢山出てるよお。 さっきよりも量多いかも。。。。



『……まあ、仕方ないでやんすなあ。もう出しちゃったことでやんすし……』

……ふう……。 うん、しょうがないよ！ あはは！  
はあ、ボクなんだか疲れちゃった。  
次はヤンガスの番だよ！！







『遠慮なくイかせていただくでやんすよ!!』

『あ、あああああつ、これがさっきまで処女だったまんこの味でやんすかあ！  
キツキツでドロドロで気持ちいでやんす…っ！  
これじゃあ童貞の兄貴はすぐに射精しちゃうでやんすなあ！』

『ふっ、ふっ、ふぐっ…っ (チンポでかすぎ…っこ、壊れちゃう…っ)』

『ふぐっ、んふっ…ふっ… (でも…なんだかさっきより気持ちいい…っ)』





『あああ…っ、オイラもそろそろイキそうでやんす…っ!』

「んっ! んんっ!! (わ、わらひも…っイクっ、いぐっっ)

極太チンポに突かれてイぐっ、いぐっ!!!! んぐううううっ!!!!)」



아아아아아아

아아아아아아





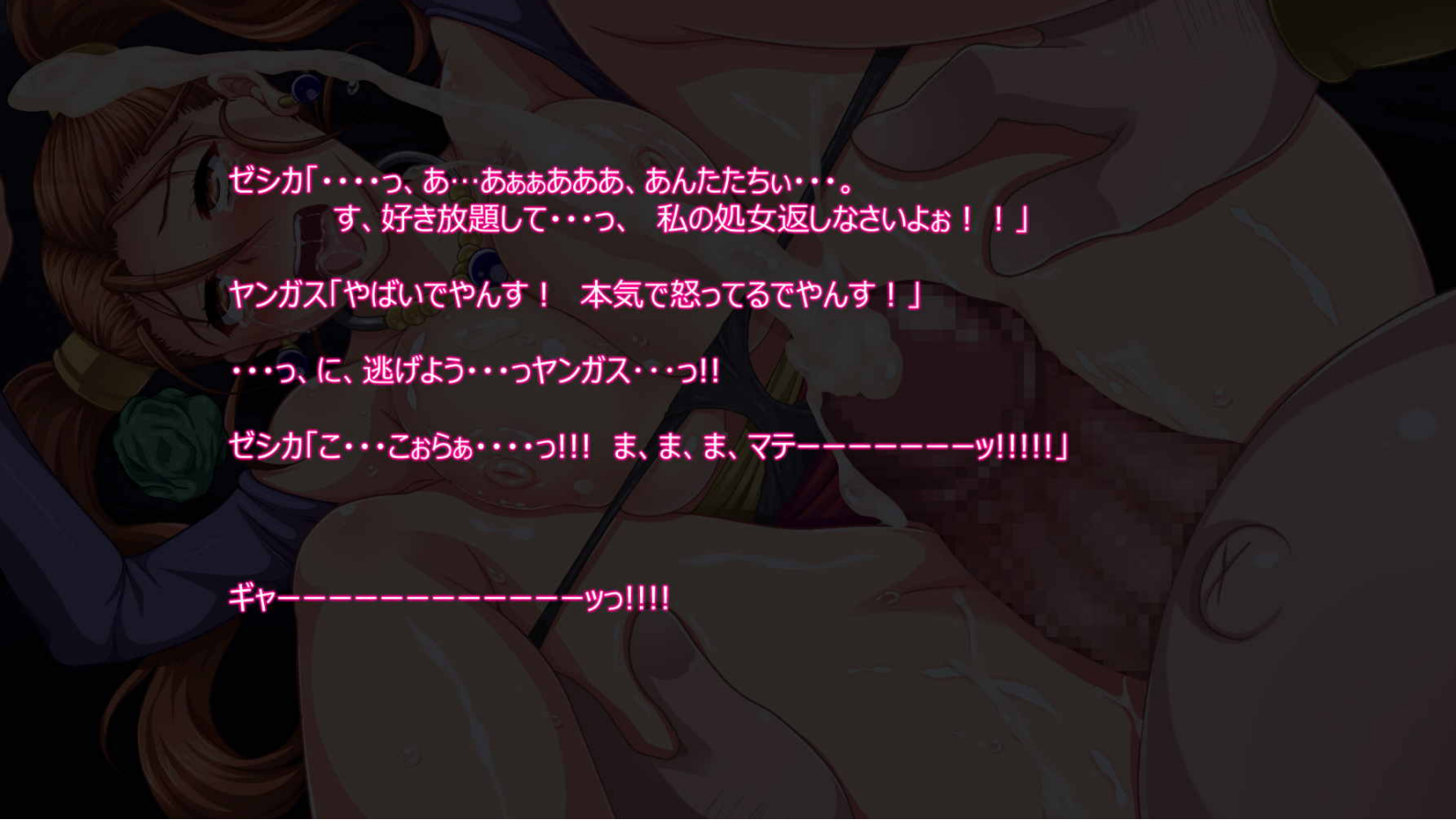
ヤングス『ふう…！ 出た出た！ 沢山出したでやんす！ 疲れたでやんすね！！』

…ボクも…、疲れてはいるんだけどなんかまだこんなことに…

ヤングス『ありゃ！？ まだ足りないっすか！？ こんなんじゃ次の戦闘負けちゃいますね！？』

…うん、負けちゃうよ… ねえ？ゼシカ。

ヤングス『そうですよ、負けちゃうでやんすよ。 わはは！』



ゼシカ「……っ、あ…あああああ、あんたたちい……。  
す、好き放題して……っ、私の処女返しなさいよ！！」

ヤンガス「やばいでやんす！ 本気で怒ってるでやんす！」

……っ、に、逃げよう……っヤンガス……っ!!

ゼシカ「こ…こおらあ……っ!!! ま、ま、ま、マテ—————ッ!!!!!!」

ギャ—————ッ!!!!!!